



令和4年10月21日
陸上幕僚監部

令和4年度方面隊実動演習（西部方面隊）（後段）の概要について

陸上自衛隊は、不確実性を増す安全保障環境の中、各種事態に実効的に対応するための抑止力・対処力を一層強化すべく、以下のとおり令和4年度方面隊実動演習（西部方面隊）（後段）を実施します。

1 目的

島嶼侵攻事態対処に係る演練を実施し、各種事態への対処能力の向上を図る。

2 期間

令和4年11月10日（木）～11月19日（土）

3 場所

鹿児島県種子島（中種子町及び南種子町）、海上自衛隊小松島基地及び四国南海域

4 担任官

西部方面総監 陸将 たけもと 竹本 りょうじ 竜司

5 演習実施部隊

西部方面隊、陸上総隊・中部方面隊の一部

6 特色

- (1) 島嶼侵攻事態対処に係る演練を実施し、抑止及び対処の実効性を向上させる演習
- (2) 生地を使用し、実際の環境下において島嶼侵攻事態対処を演練する演習

7 新型コロナウイルス感染症対策

- (1) 防衛省・自衛隊が定める方針に基づき必要な感染症対策を十分に講じて参加
- (2) 新型コロナウイルス感染症の感染が疑われる隊員が発生した場合は、事前に準備した施設に隔離してPCR検査等を受検させるとともに、濃厚接触者と疑われる隊員を速やかに特定・隔離して感染拡大を防止
- (3) 陽性者が発生した場合は、所在地域の保健所の指導等に基づき隔離するとともに、重症化した場合は、速やかに近傍の救急対応病院等に搬送